

## 令和 6 年度全国学力・学習状況調査

## 児童生徒質問調査・学校質問調査の項目について (案)

## 1. 質問調査項目の構成 (案)

- 全体の質問項目数は、児童生徒及び学校の負担を軽減するとともに、正確な調査結果を得る観点から、児童生徒質問は 70 項目程度、学校質問は 80 項目程度とする。
- 質問調査項目の構成及びテーマごとの項目数は以下のとおりとする。

## &lt;児童生徒質問調査&gt;

項目数	小		中	
	R6	R5	R6	R5
1. 基本的な生活習慣等	8	3	8	3
2. 挑戦心・達成感・規範意識・自己有用感	14	12	14	12
3. 学習習慣、学習環境	5	9	5	9
部活動	0	0	0	4
4. 地域や社会に関わる活動の状況等	2	4	2	4
5. ICT を活用した学習状況等	2 (8)	3 (3)	2 (8)	3 (3)
6. 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	9	7	9	7
7. 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳	4	4	4	4
8. 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)	8	8	8	8
9. 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)	8	4	8	4
10. 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(理科)	3	0	3	0
11. 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)	3	5	5	14
合計	66 (72)	59 (59)	68 (74)	72 (72)

## &lt;学校質問調査&gt;

項目数	小		中	
	R6	R5	R6	R5
1. 学校規模等	6	7	6	7
2. 生徒指導等	2	6	2	6
3. 学校運営に関する状況、教職員の資質向上に関する状況	16	12	16	12
4. 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	11	11	11	11
5. 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法	4	4	4	4
6. 学習評価	1	1	1	1
7. 国語科の指導方法	4	4	4	4
8. 算数〔数学〕の指導方法	4	3	4	3
9. 理科の指導方法	3	0	3	0
10. 英語科の指導方法	1	3	5	11
11. ICT を活用した学習状況	14 (20)	14 (18)	14 (20)	14 (18)
12. 特別支援教育	1	1	1	1
13. 小学校教育と中学校教育の連携	1	3	1	3
14. 家庭や地域との連携等	2	5	2	5
15. 家庭学習	3	3	3	3
16. 調査結果の活用	3	3	3	3
新型コロナウイルス感染症の影響	0	1 (8)	0	1 (8)
合計	76 (82)	81 (92)	80 (86)	89 (100)

※ 太枠は「2. 令和6年度質問調査項目(案)のポイント」に記載の項目

※ ( )内は、全質問数

## 2. 令和6年度質問調査項目（案）のポイント

### (1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に関する項目

学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況等を明らかにするため、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する項目を継続する。また、個別最適な学び・協働的な学びに関する項目を充実させ、各教科の正答率との関係などについて更なる分析を行う。

### (2) ICTを活用した学習状況に関する項目

ICTを活用した学習状況について、児童生徒がどのような点に有用性を感じているかなど、よりきめ細かに把握できるよう項目を充実させる。

### (3) 学習に対する興味・関心や授業の理解度等に関する項目

#### ①国語、算数・数学

国語、算数・数学の学習状況について、教科調査の結果に加えて質問調査の結果も合わせて複合的に分析できるよう、各教科の授業において児童生徒がどのように学んでいるかに関する項目を追加する。

#### ②理科、英語

理科、英語に関する項目は、教科調査が実施される年度のみとしてきたが、過去の調査で明らかになった課題を踏まえ、それらがどのように変化しているかをフォローアップできる項目を追加する。

### (4) 学校運営に関する状況、教職員の資質向上に関する状況に関する項目

教育振興基本計画において、「子供たちのウェルビーイングを高めるためには、教師のウェルビーイングを確保することが必要」とされている。このため、子供たちのウェルビーイングとの関係等の分析を見据えながら、教職員間の情報共有の状況や学校組織の心理的安全性の確保などの観点からの項目を追加する。